

読者の声お返事コーナー 『ホームページ』vers

大学を卒業して山あいの学校に勤務した。車での勤務は珍しい時代で私はバス通勤をした。幹線の大橋でバスを降り、毎朝先輩と川沿いを約20分、晴れの日も雨の日も歩いた。この時間に教育や人生について先輩からいろいろと学んだ。私にとってバス通勤は「貴重な学習の場」を提供してくれた。今でもあのシーンがよみがえってくる。

(かつちゃん 伊集院町 60代男性)

お便りありがとうございます。

車社会となった今、「バス通勤」と聞くともんどくさいとか、大変だとか思う人も多いかもしれませんが。同じ場所でも自分で車を運転するのと、バスに乗るのでは見える景色が違いますし、バス停から目的地まで間を自分の足で歩くことよって普段気づかないことに気づくこともあります。そういった「学習の場」としてのバス通勤(通学)の時間を大切にしていきたいですね。

私

は高校生のときにバス通学をしていました。利用する路線のドライバーさんは話がおもしろく、行き帰りの楽しみになっていました。卒業後免許を取り、バスに乗る機会はめっきり減った2年前、過疎化が進んだ地域のバス運行最終日の番組でそのドライバーさんが花束を受け取っていました。約10年前のことを思い出して優しくしていただいた記憶がよみがえりました。今でも変わらずに活躍されていてうれしかったです。

(ちびみかん 伊集院町 20代女性)

お便りありがとうございます。

ドライバーさんも10年前のことを覚えていただいている、ドライバー冥利に尽きると思います。何気ない会話であっても、記憶には残っているものですよね。たまには、バスに乗って当時の思い出を振り返ってみるのもいいかもしれませんね。

今月のお題～バスに乗って～

私

が子どもの頃、昭和40年代のバスはワンマンバスではなく、車掌さんが首から提げた黒い大きなガマ口かばんから切符を取り出して、はさみ型のパンチで穴をあけて乗客に渡す仕組みでした。ワンマンバスが導入された当初、自動両替機はまだなくて、赤茶色の板垣退助の百円札を運転手さんに渡すと、半透明の小さな紙袋に入った硬貨を渡してくれていました。近距離なら運賃は100円以下で5円単位でした。今昔の感があります。ああ、懐かしいですね。

(昭和レトロ大好き 伊集院町 50代男性)

お便りありがとうございます。

時代を感じますね。ガマ口の黒かばんもはさみ型のパンチも映画などでしか見たことがありません。「ワンマンバス」という言葉を初めて聞くような感覚になったのは、それだけ今では当たり前になっているということですよ。いろいろなものが便利になっていく反面、「昭和レトロ」が姿を消していくのは少し寂しいですね。

セ

ラー服の似合う中学生の頃、隠れて路線バスを使っていた。その日のバスは最後の乗客を乗せ発車しようとしていた。乗りたい私は危険も顧みず道路に躍り出て、「まってええ。のせて」とバスの後ろを走るが、運転手さんに声が届かない。なおも必死で走った勢いで、バタツとこけてしまった。スカートがめくれた。後続車にひかれると思いきや、バス以外の車は全部停まって私を見ている。「このまま死んだふりをしようか」と本気で迷った少女時代(笑)

(トーラ 吹上町 女性)

お便りありがとうございます。

バスを追いかけるところまでは、ドラマのようなコマですが、やはりドラマのようなにはいかないものですね。思春期の苦い思い出にはなりましたが、大きな事故にならなくて良かったですね。

暑

暑い日が続きますね。皆さまはいかがお過ごしでしょうか。今回はこの時期に心配な熱中症についてお話ししようと思います。熱中症は高温多湿な場所に長い時間いることで、体温調節が十分にできなくなつて起こるものです。熱中症が疑われた場合は涼しくて風通しのよい場所に移り、冷やします。意識があるときに冷たい飲み物を飲ませ、その後医師の診察を受けましょう。お体に気をつけて、平成最後の夏を楽しんでください。

(四葉 伊集院町 20代女性)

お便りありがとうございます。

熱中症についてのお話ありがとうございます。事前の熱中症対策や症状が出たときの対処がとても大切だと思います。

平成最後なんですよ。実感はないですが、私も悔いのないよう、熱中症に気をつけながら、夏の思い出を作ろうと思います。

7月21日の「黒じよか」を読みました。思わず声を出して笑いました。仕事熱心と少々

そそっかしい人柄を想像し親しさを覚えました。月間黒じよか大賞に選ばれ、黒じよかが送つてきたらいいですね。これからも広報ひおきを楽しみにしています。これから読みながら思い出し笑いそうです。楽しい話題をありがとうございます。がんばってください。

(何でも読むの大好き 伊集院町 70代女性)

お便りありがとうございます。

読んでいただいたのですね。新聞紙面に載せていただきました。実は私、あのコーナーに載るのは2回目です。広報なりたてのころでした。前回もいわゆる「勘違いネタ」でした。あれから3年経っても成長してないですね。あの記事で市役所に親しみを持ってもらえればと思っています。

フリートーク

～日置市お便り板～